

令和 2 年度 黒埼商工会 下期景況調査  
報 告 書

令和 3 年 2 月

黒 埼 商 工 会



# －目次－

I 調査の実施概要 .....	1
1. 目的 .....	1
2. 調査期間 .....	1
3. 調査対象 .....	1
4. 調査方法 .....	1
5. 設問内容 .....	1
6. 回収結果 .....	1
7. 集計・分析に係る留意事項 .....	1
II 調査結果の概要 .....	3
III 調査結果 .....	4
1. 企業の概要 .....	4
(1) 業種 .....	4
(2) 従業員数 .....	4
(3) 企業区分 .....	5
(4) 後継者の有無 .....	5
2. 売上 .....	7
3. 採算(経常利益) .....	9
4. 仕入単価 .....	11
5. 販売(客)単価 .....	13
6. 資金繰り .....	15
7. 雇用動向 .....	17
8. 景況判断 .....	19
9. 経営上の問題点 .....	21
10. 新型コロナウイルス感染症の影響 .....	23
11. 今後の事業・経営において強化したい点等 .....	24
IV 調査結果の総括 .....	25
1. 調査結果の総括表 .....	25
2. まとめ .....	26
<b>【資料編】</b>	
景況調査ヒアリングシート .....	28

## I 調査の実施概要

### 1. 目的

当地域（旧黒埼町）の景気動向を把握し、小規模事業者の経営支援に活かすことを目的に調査を行った。

### 2. 調査期間

令和2年12月中旬～令和3年1月上旬

### 3. 調査対象

黒埼商工会の会員事業者のうち、商工会事務局が抽出した30事業者とする。

### 4. 調査方法

別紙「景況調査ヒアリングシート」を用いた経営指導員の面談による聞き取り調査

### 5. 設問内容

主な設問内容は以下のとおりとする。

- ① 企業の概要
- ② 企業の現況
- ③ 経営上の問題点
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響（自由回答）
- ⑤ 今後の事業・経営において強化したい点（自由回答）

### 6. 回収結果

有効回答数：30件　有効回答率：100%

### 7. 集計・分析に係る留意事項

- (1) 数値（%）は小数点第2位以下を四捨五入しており、総数と内訳の計は必ずしも一致しない。また、無回答は数値に含めない。
- (2) 調査結果は、景況判断指数の一つであるBSI（Business Survey Index）で評価した。BSIとは、各調査項目において「プラス（増加・好転・上昇）」と回答した企業の割合から「マイナス（減少・悪化・低下）」と回答した企業の割合を差し引いた値を示す。
- (3) 文中において、「前期」「今期」「来期」については、特に説明がない限り、以下の時期である。
  - 前期 令和2年1月～6月期
  - 今期 令和2年7月～12月期
  - 来期 令和3年1月～6月期

(4) 他地区との比較については、以下の資料を用いた。

① 一般財団法人新潟経済社会リサーチセンター「新潟県企業動向調査 2020 年下期」  
(以下、「リサーチセンター調査」という。)

- ・調査対象：新潟県内事業所 1,000 社
- ・調査方法：郵送及び Web アンケートによる記名アンケート方式
- ・調査時期：2020 年 11 月 16 日～11 月 30 日
- ・回答状況：回答事業所数 701 社  
有効回答率 70.1%

② 独立行政法人中小企業基盤整備機構「第 162 回中小企業景況調査 (2020 年 10-12 月期)」※ (以下、「中小企業調査」という。)

- ・調査対象：中小企業基本法に定義する、全国の中小企業 18,192 社
- ・調査方法：原則として、全国の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員の訪問面接による、聞き取り調査
- ・調査時点：2020 年 11 月 15 日時点
- ・回収結果：回答企業数 18,231 社  
有効回答率 96.4%

※中小企業調査では、DI (Diffusion Index) を用いて評価をしている。DI とは、「(増加・上昇・好転) - (減少・低下・悪化)」で求めた指標であり、調査時点における景気の現状を表す。本調査では、企業規模、調査項目を踏まえ、中小企業調査の DI を用いて比較した。

また、中小企業調査は四半期毎 (1～3 月、4～6 月、7～9 月、10～12 月) に行っていることから、黒崎商工会調査と比較する際に 1～3 月と 4～6 月の平均を 1～6 月に、7～9 月、10～12 月の平均を 7～12 月に表示している。

## II 調査結果の概要

当地域の「景況判断」をみると、今期は前期から改善し、5期ぶりに上昇したものの、来期は再び悪化が見込まれている。

今期の概要は以下のとおりであった。

### ① BSI

- ・「売上」、「採算（経常利益）」、「販売（客）単価」、「資金繰り」、「雇用動向」はいずれも上昇した。
- ・「仕入単価」は横ばいに推移した。

### ② 経営上の問題点

- ・「需要の停滞」の割合が最も高く、以下「店舗、設備等の老朽化」、「従業員の確保」、「税負担の増加」と続いている。

### ③ 業界の動向

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、卸・小売業やサービス業他で客数が減少し、売上が低下したとの声があがった。
- ・建設業では新型コロナウイルス感染症の影響が特に現れず、前期から業況の変化がみられなかった。
- ・業種や事業者ごとに違いがあるものの、全体としては持ち直しの動きがみられる。

[調査結果の概要表]

	前期と比較した 景況感（BSI）	概況
景況判断		製造や卸・小売業で「悪化」の割合が高いが、サービス他の一部で「好転」した
売上		製造や卸・小売業で「減少」の割合が高いが、建設やサービス他の一部で「上昇」がみられる
採算（経常利益）		卸・小売業やサービス他で「悪化」の割合が高いが、建設で「好転」がみられる
仕入単価		建設や卸・小売業、サービス他の一部で「上昇」した
販売（客）単価		卸・小売業やサービス他で「低下」がみられる
資金繰り		卸・小売業で「悪化」の割合が高いが、サービス他の一部で「好転」した
雇用動向		卸・小売業とサービス他の一部のみ「減少」した

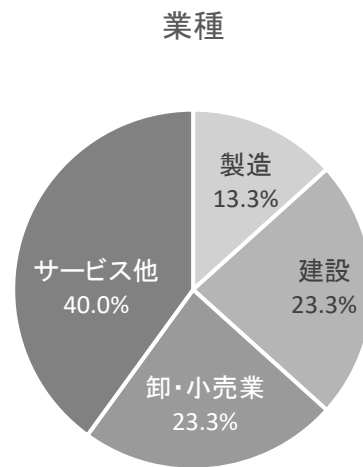
### Ⅲ 調査結果

#### 1. 企業の概要

##### (1) 業種

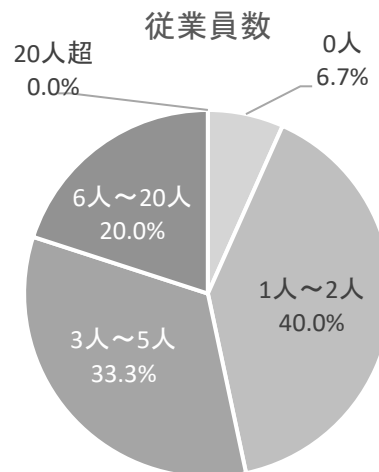
業種	
1 製造	4
2 建設	7
3 卸・小売業	7
4 サービス他	12
合計	30

「サービス他」が40.0%を占めており、次いで「建設」と「卸・小売業」が23.3%である。



##### (2) 従業員数

従業員数	
1 0人	2
2 1人～2人	12
3 3人～5人	10
4 6人～20人	6
5 20人超	0
合計	30



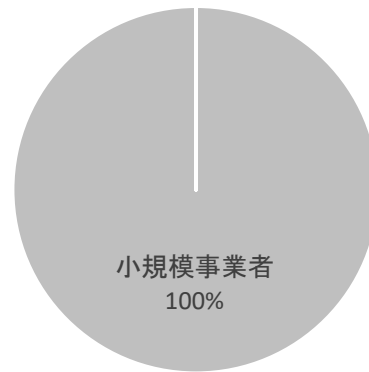
「1人～2人」が最も多く40.0%、次いで「3人～5人」が33.3%である。また、「20人超」と回答した事業者はない。

(3) 企業区分

企業区分		
1	小規模事業者	30
2	小規模事業者以外	0
合計		30

すべて「小規模事業者」である。  
小規模企業活性化法により、従業員 20 人以下の事業者を「小規模事業者」と定義している。

企業区分



(4) 後継者の有無

後継者の有無		
1	有	11
2	無	18
合計		29
無回答		1

後継者は「無」が 62.1%である。  
後継者「無」の割合（後継者不在率）について、平成 29 年度上期調査以降の結果を時系列で見ると、50%から 70%の間で推移しており、今期は前期より 7.9%低下した（図 1.1）。

後継者の有無

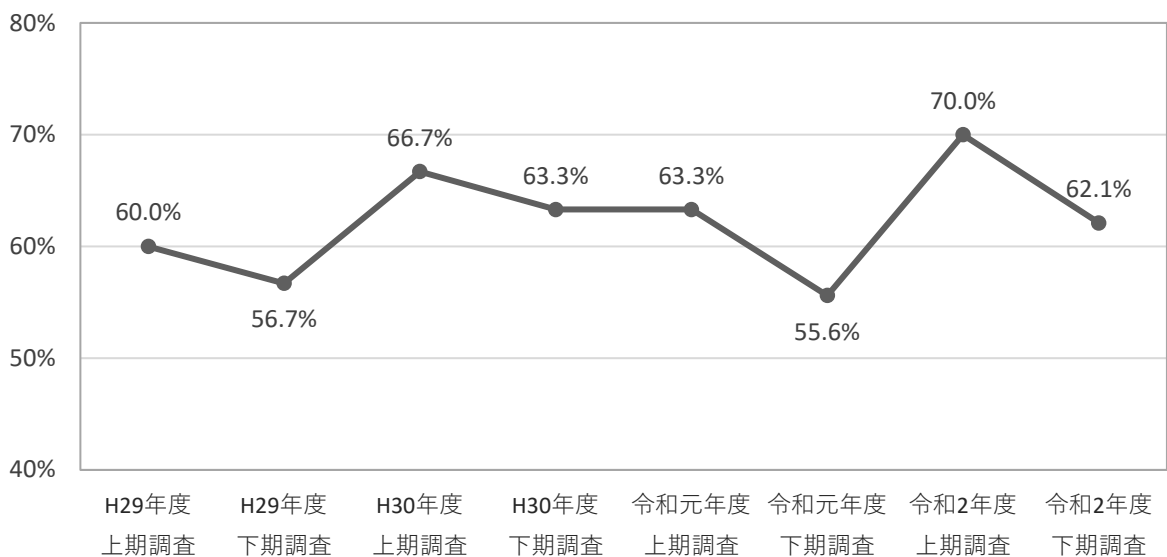
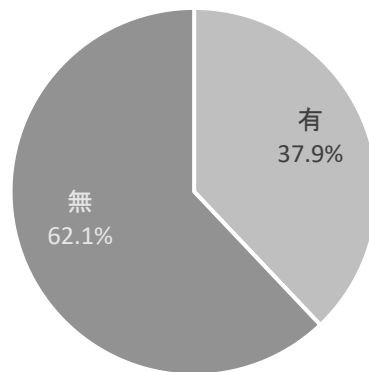


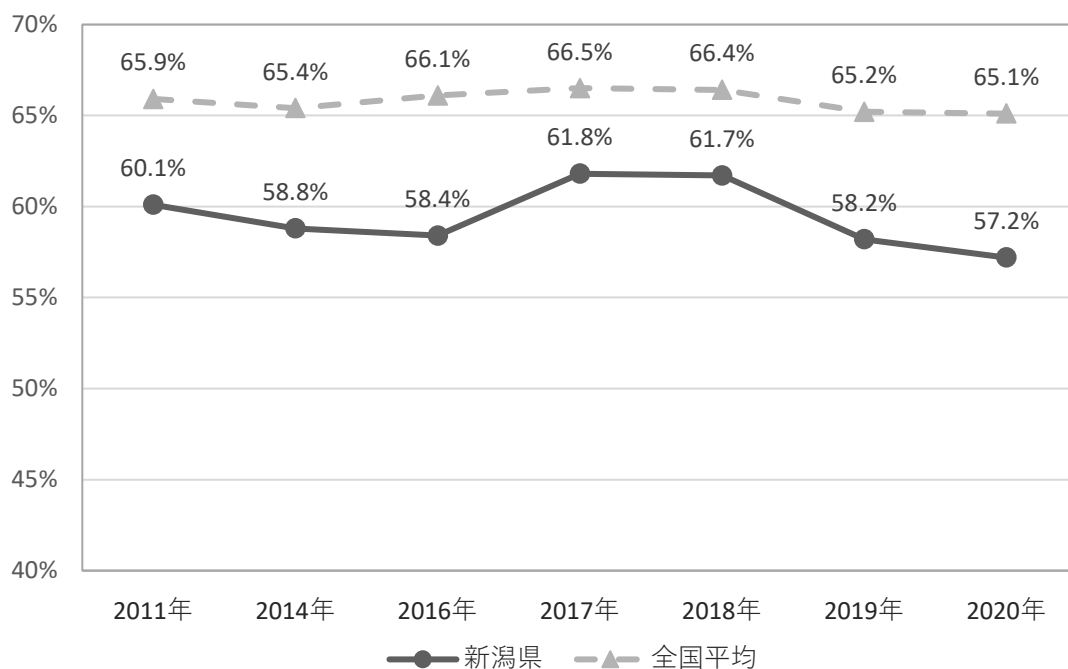
図 1.1 後継者不在率の推移



株式会社帝国データバンクが全国の企業約 26 万 6000 社に対して 2020 年に行った調査によると、全国・全業種の後継者不在率は 65.1%であった。また、都道府県別の後継者不在状況をみると、「新潟県」は 57.2%で前年より 1.0 ポイント低下した。

この調査結果と今回の黒埼商工会の調査結果を単純に比較することはできないが、当地域の不在率（62.1%）は新潟県平均よりも高いことがわかる。

### 後継者不在率推移（帝国データバンク）



出典：株式会社帝国データバンク『全国企業「後継者不在率」動向調査（2020年）』（2020年11月30日公表）  
 株式会社帝国データバンク新潟支店『新潟県「後継者不在企業」調査』（2019年12月27日公表）

## 2. 売上

今期の売上が、前期と比べて「増加」と回答した企業の割合は20.0%、「不変」は20.0%、「減少」は60.0%という結果だった。

今期の売上BSI（「増加」－「減少」）は▲40.0と、前期（▲79.3）から39.3ポイント上昇した。来期は▲66.7と、今期から26.7ポイント低下する見込みであり、全体では厳しい状況が続くとみられる。

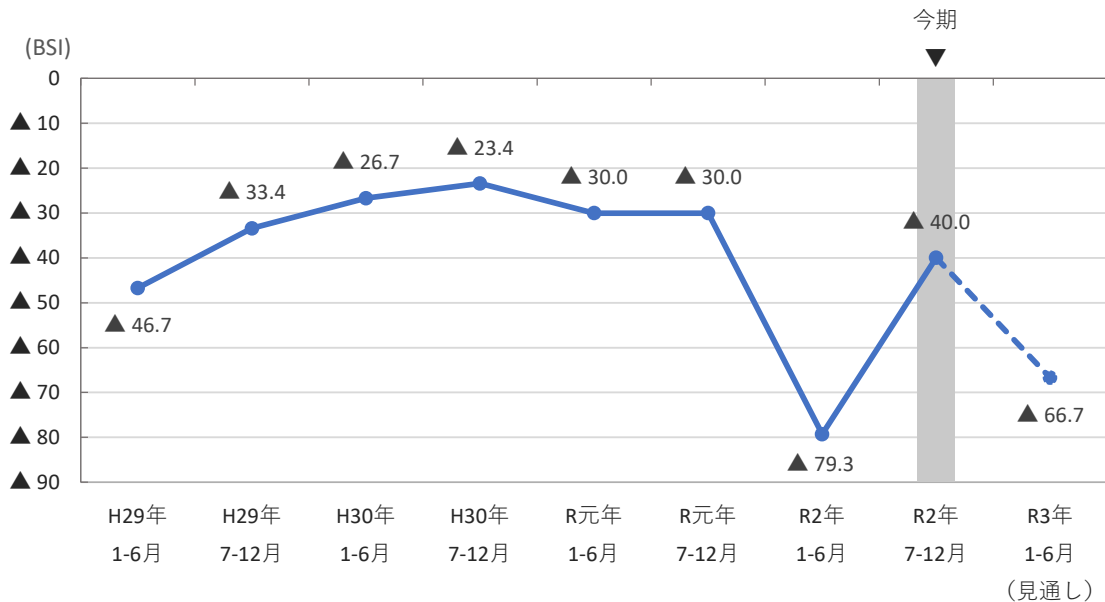


図 2.1 売上 BSI

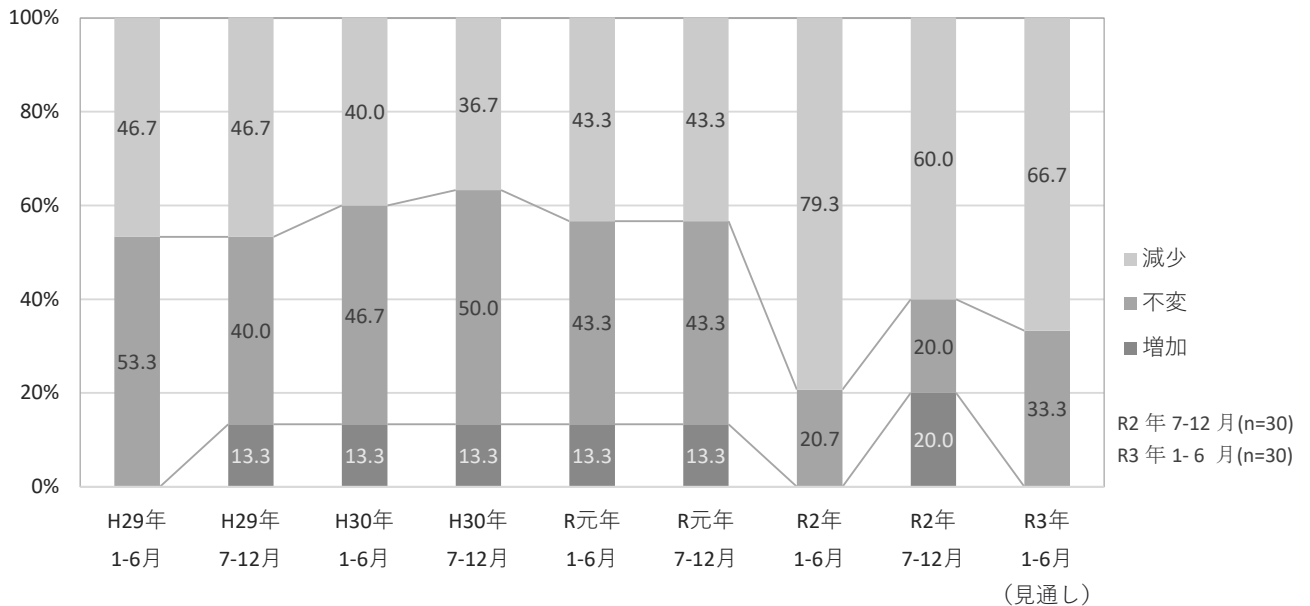
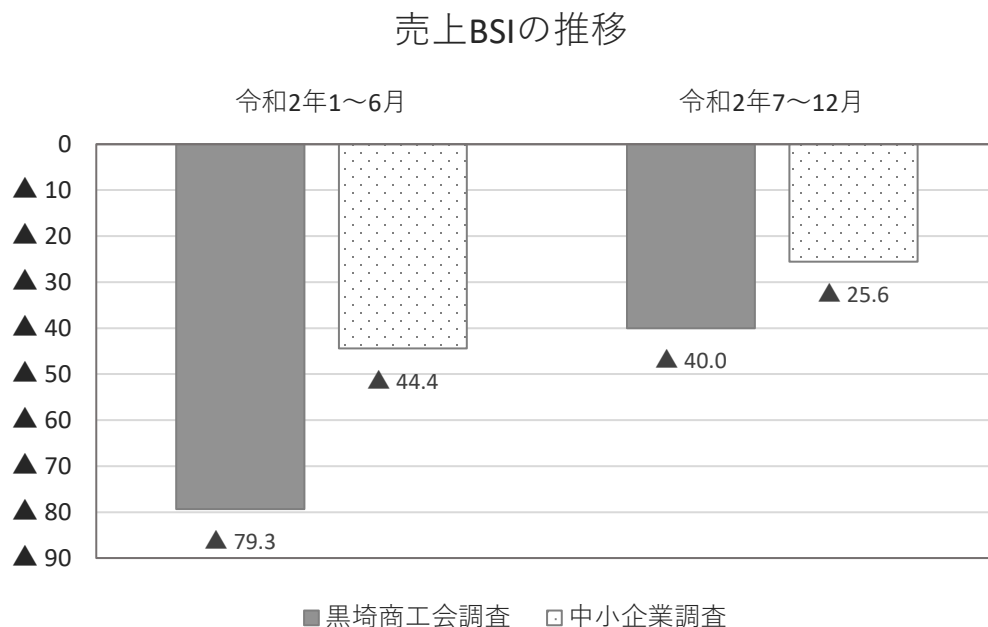


図 2.2 売上の回答割合

【参考】

「中小企業調査」によると、今期の売上額DI<sup>\*</sup>は▲25.6であり、前期（▲44.4）から18.8ポイント上昇した。

黒埼商工会調査と中小企業調査ともに、売上BSIは上昇しており、今期は黒埼商工会調査と中小企業調査の差が前期よりも縮小している。



※中小企業調査では、売上額を尋ねている。

### 3. 採算（経常利益）

今期の採算（経常利益）が、前期と比べて「好転」と回答した企業の割合は17.2%、「不変」は27.6%、「悪化」は55.2%という結果だった。

今期の採算（経常利益）BSI（「好転」－「悪化」）は▲38.0と、前期（▲73.3）から35.3ポイント上昇したものの、来期の見通しは▲65.5と、今期より27.5ポイント低下する見込みである。採算面は依然厳しい状況が続くことがうかがえる。

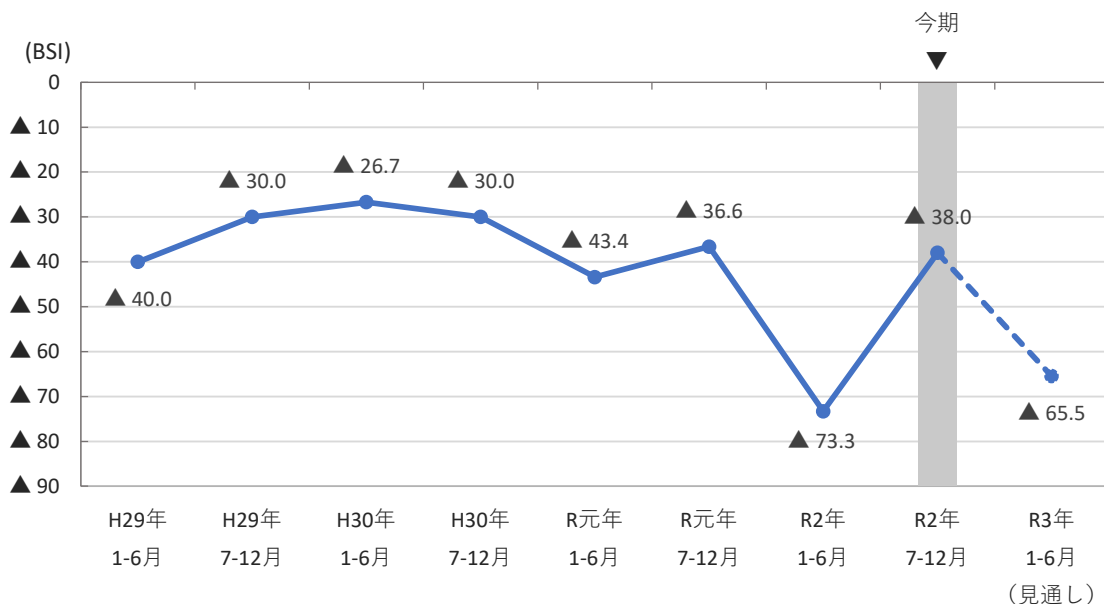


図 3.1 採算（経常利益）BSI

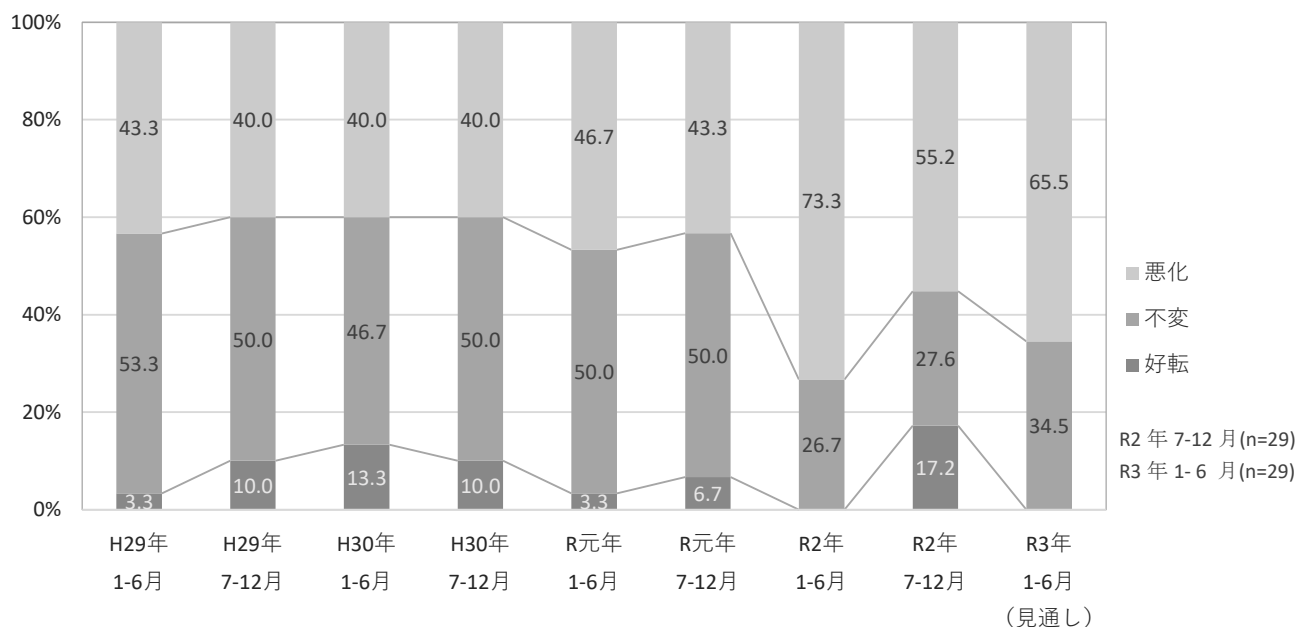


図 3.2 採算（経常利益）の回答割合

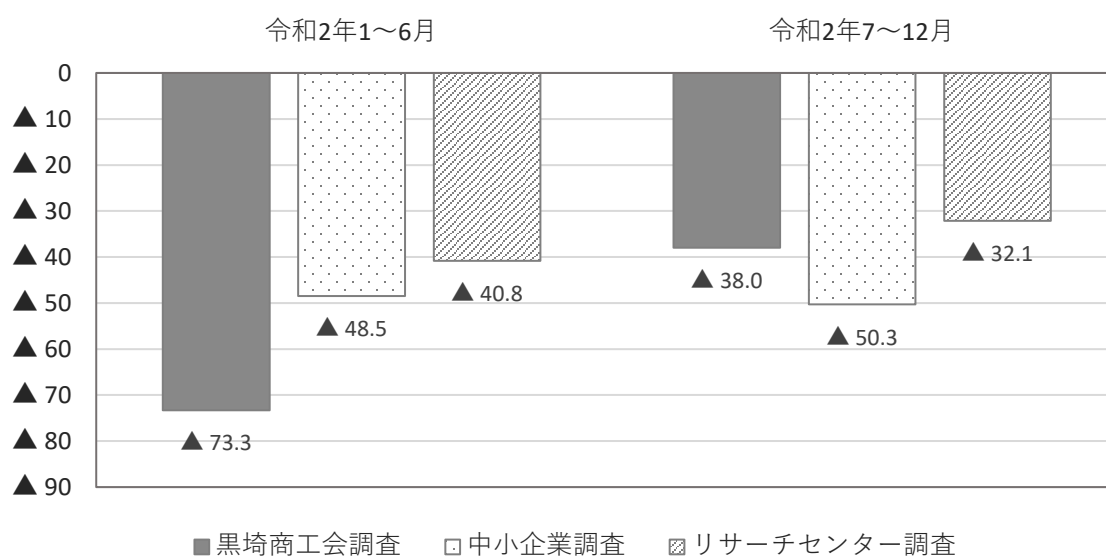
【参考】

「中小企業調査」をもとに全国の中小企業の採算（経常利益）DI をみると、前期は▲48.5、今期は▲50.3 であり、前期から今期にかけての水準はほとんど変化がない。

「リサーチセンター調査」によると、前期の採算 BSI は▲40.8 であり、今期は▲32.1 という結果であった。

黒崎商工会調査とリサーチセンター調査ともに、採算（経常利益）BSI は前期から今期にかけて上昇しており、今期の黒崎商工会調査の水準は中小企業調査の水準よりも高くなっている。

### 採算（経常利益）BSIの推移



#### 4. 仕入単価

今期の仕入単価が、前期と比べて「上昇」と回答した企業の割合は21.4%、「不変」は78.6%、「低下」は0.0%という結果だった。

今期の仕入単価 BSI（「上昇」－「低下」）は21.4 と、前期（21.4）から横ばいで推移している。来期は31.0 と、今期より9.6ポイント上昇する見通しとなっており、仕入単価の高止まり感が続くとみられる。

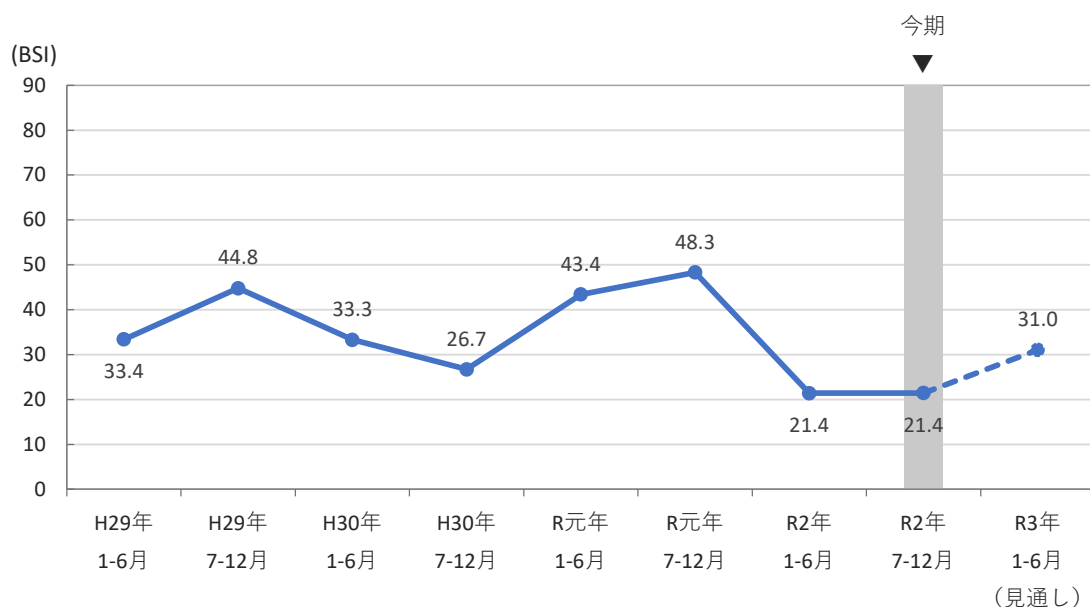


図 4.1 仕入単価 BSI

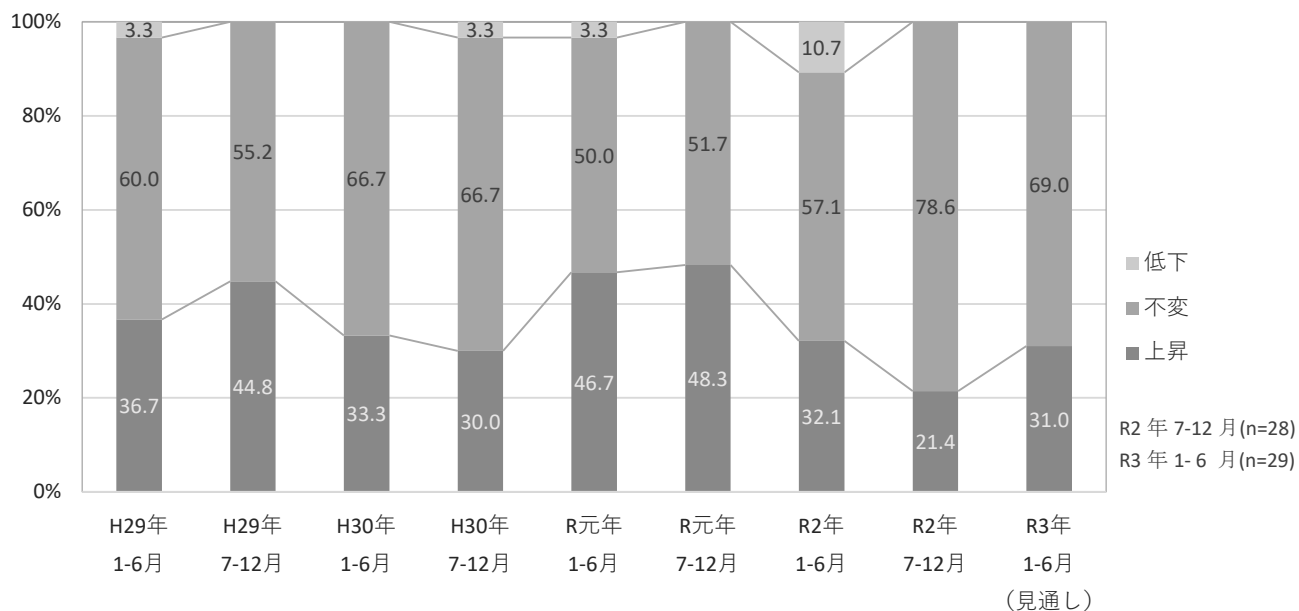
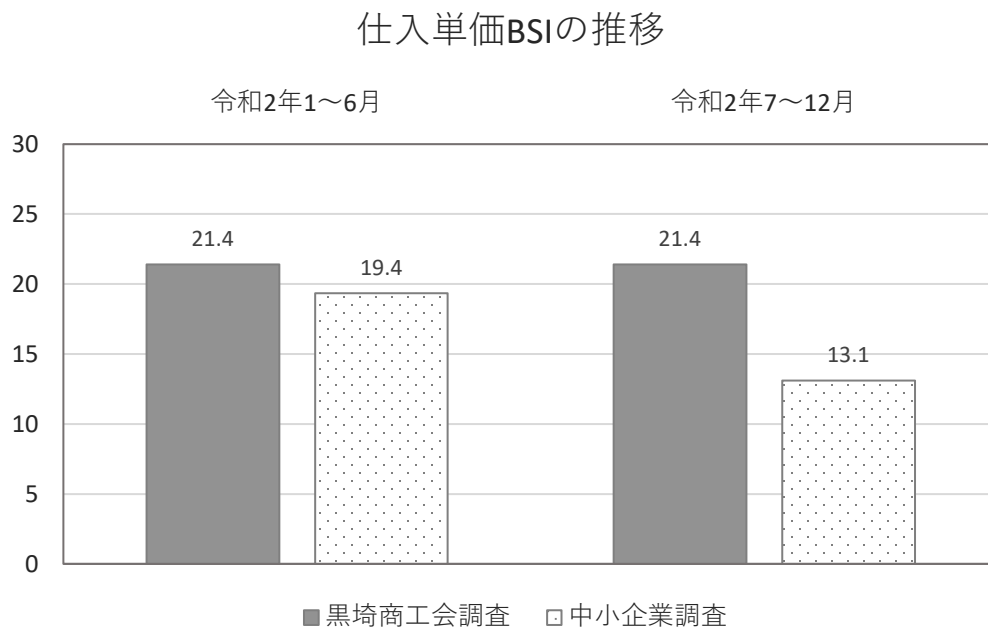


図 4.2 仕入単価の回答割合

【参考】

「中小企業調査」をもとに全国の中小企業の原材料・商品仕入単価 DI\*をみると、今期は13.1であり、前期（19.4）から6.3ポイント低下した。

黒埼商工会調査と中小企業調査の仕入単価 BSI の水準は、前期は同程度だったが、今期は少し差が出る結果となった。



※中小企業調査では、原材料・商品仕入単価を尋ねている。

## 5. 販売（客）単価

今期の販売（客）単価が、前期と比べて「上昇」と回答した企業の割合は 6.9%、「不変」は 62.1%、「低下」は 31.0%という結果だった。

今期の販売（客）単価 BSI（「上昇」－「低下」）は▲24.1 と、前期（▲36.7）から 12.6 ポイント上昇した。来期は▲34.5 と、今期から 10.4 ポイント低下する見込みであり、需要の停滞が続くとみられる。

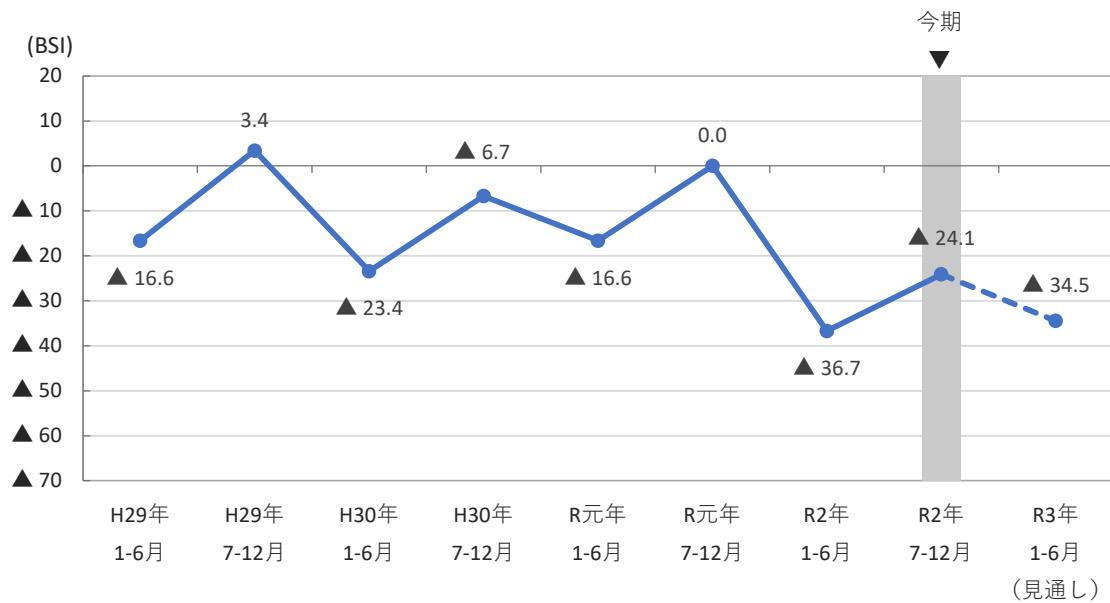


図 5.1 販売（客）単価 BSI

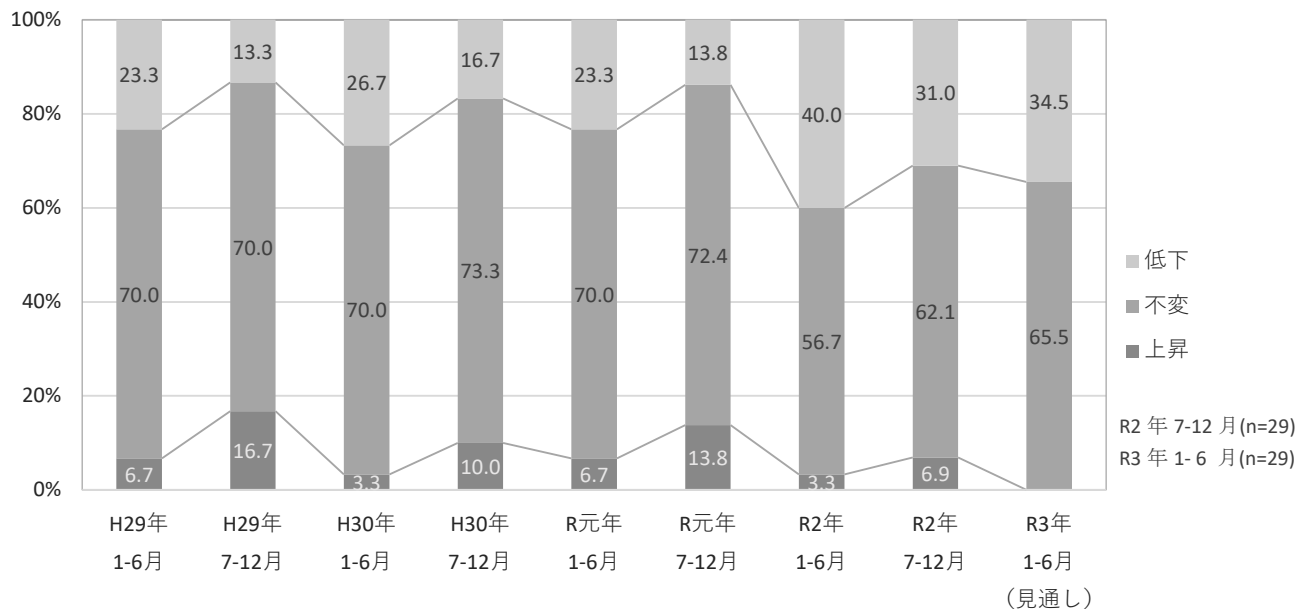


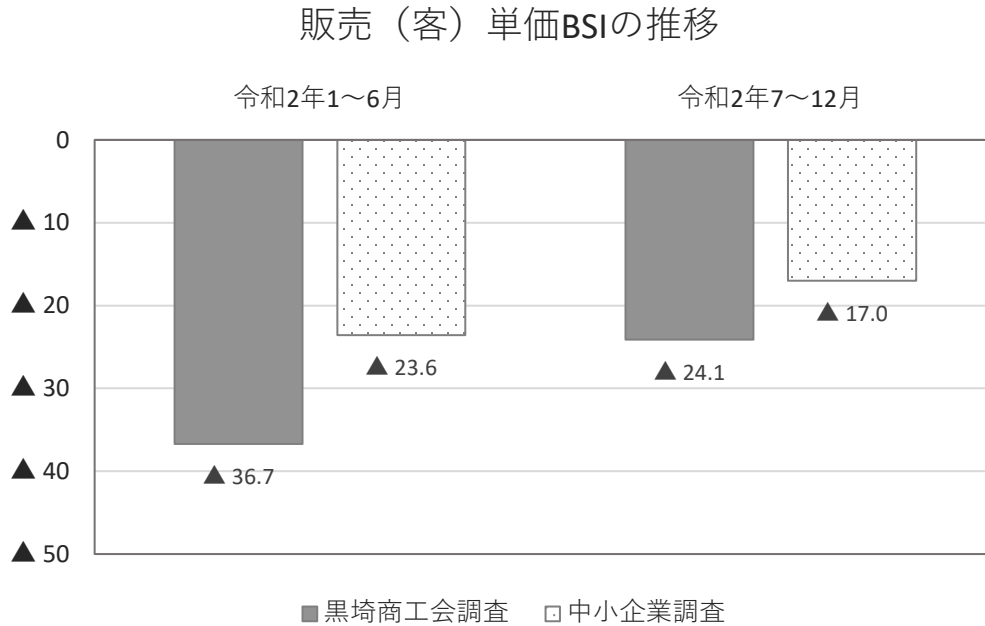
図 5.2 販売（客）単価の回答割合



【参考】

「中小企業調査」をもとに、全国の中小企業の売上単価・客単価DI<sup>※</sup>をみると、今期は▲17.0であり、前期（▲23.6）から6.6ポイント上昇した。

黒埼商工会調査と中小企業調査ともに、販売（客）単価BSIは上昇しており、今期の黒埼商工会調査の水準は前期の中小企業調査の水準と同程度である。



※中小企業調査では、売上単価・客単価を尋ねている。

## 6. 資金繰り

今期の資金繰りが、前期と比べて「好転」と回答した企業の割合は3.3%、「不変」は60.0%、「悪化」は36.7%という結果だった。

今期の資金繰り BSI（「好転」－「悪化」）は▲33.4 と、前期（▲46.4）から13.0ポイント好転した。来期は▲46.4 と、前年同期と同程度の結果になると見込まれており、資金繰りは依然厳しい状況にあることがうかがえる。

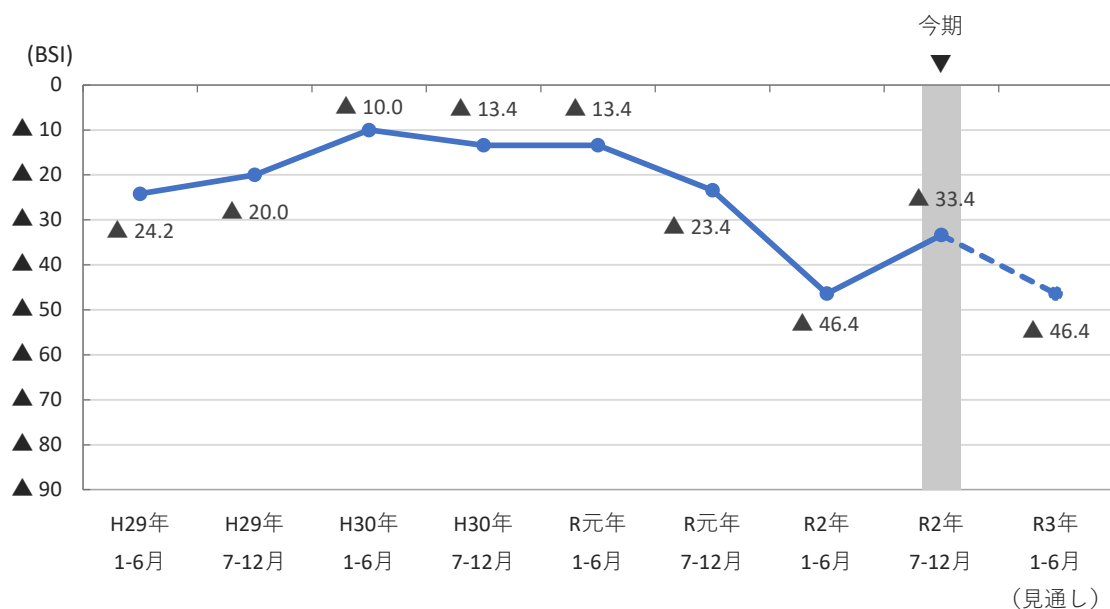


図 6.1 資金繰り BSI

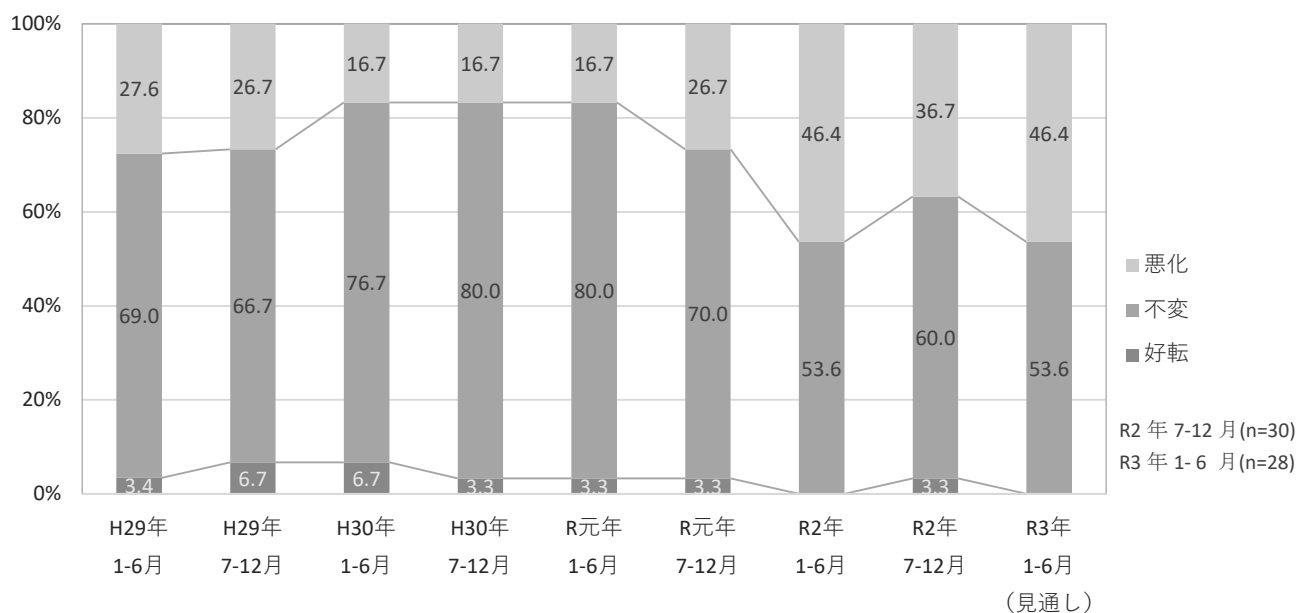


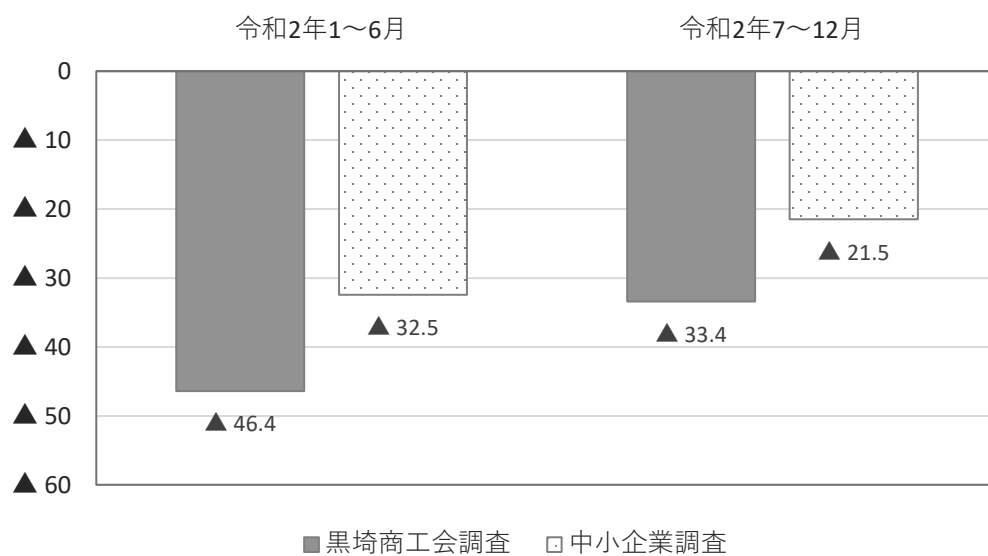
図 6.2 資金繰りの回答割合

【参考】

「中小企業調査」をもとに全国の中小企業の資金繰り DI をみると、今期は▲21.5 であり、前期（▲32.5）から 11.0 ポイント上昇した。

黒埼商工会調査と中小企業調査ともに、資金繰り BSI は前期から今期にかけて好転した。また、黒埼商工会調査と中小企業調査の差は前期と今期ではほぼ変わらず推移している。

### 資金繰り BSI の推移



## 7. 雇用動向

今期の雇用動向が、前期と比べて「増加」と回答した企業の割合は0.0%、「不変」は88.9%、「減少」は11.1%という結果だった。

今期の雇用動向 BSI（「増加」－「減少」）は▲11.1 と、前期（▲26.9）から 15.8 ポイント上昇している。来期は▲14.8 と、今期からやや低下する見込みである。

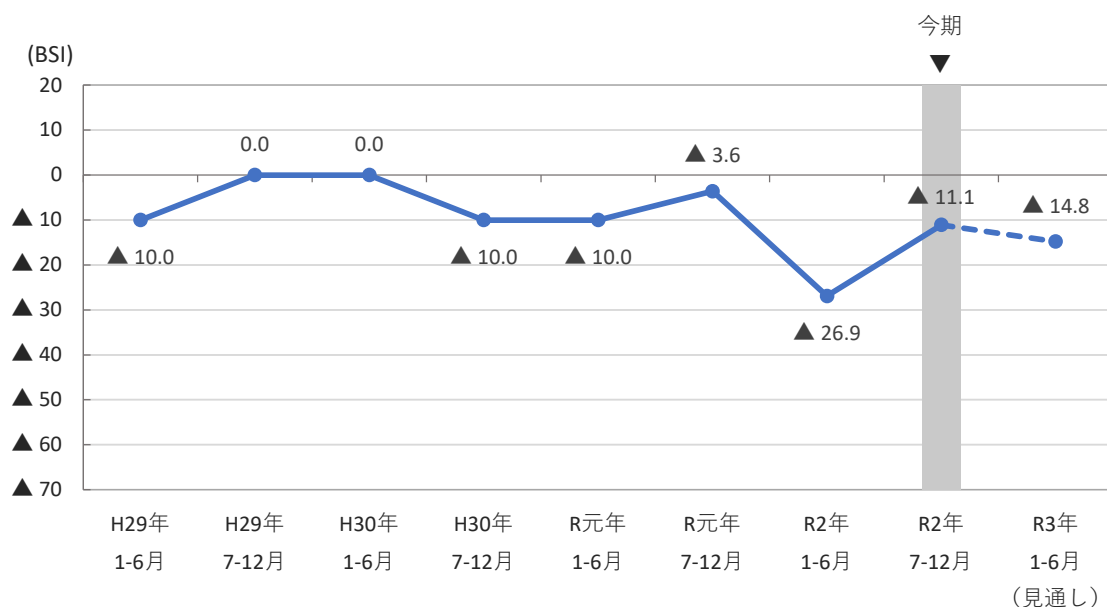


図 7.1 雇用動向 BSI

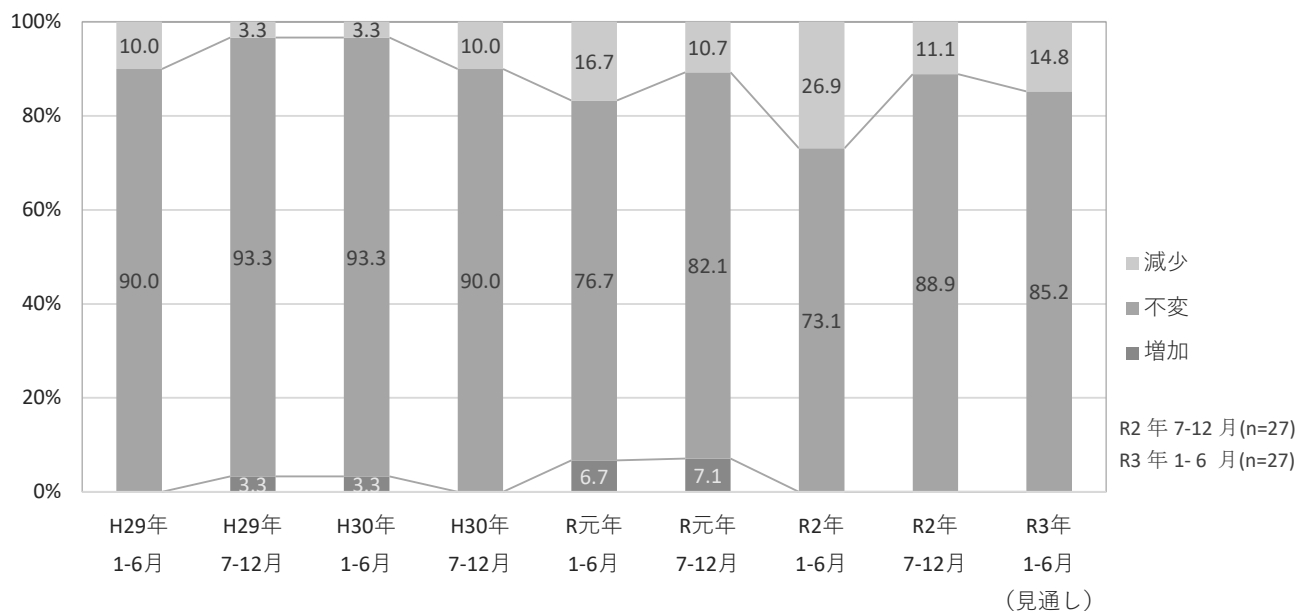
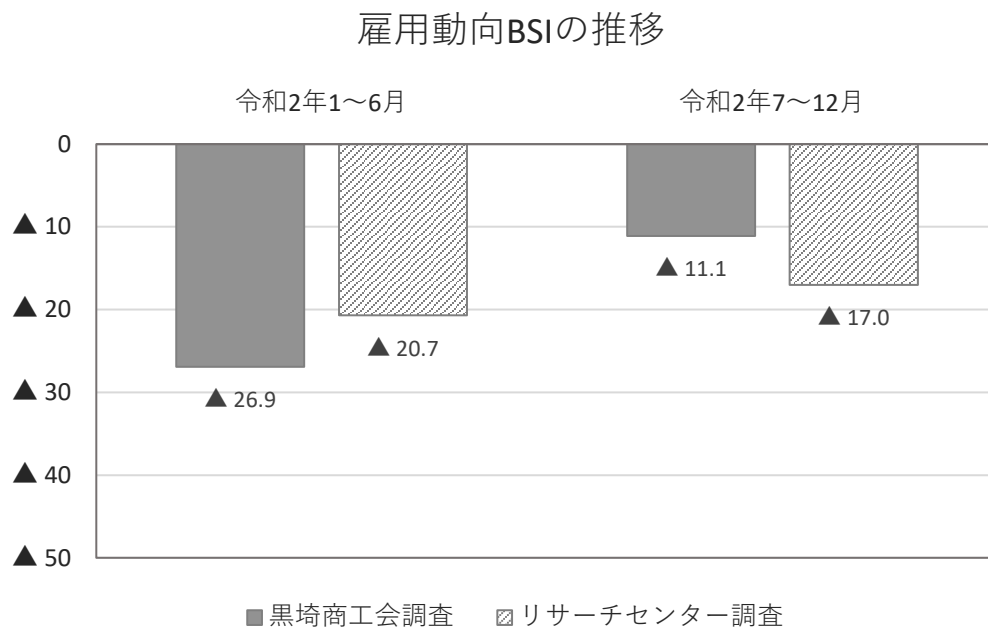


図 7.2 雇用動向の回答割合

【参考】

「リサーチセンター調査」をもとに、新潟県内の企業の雇用 BSI\*をみると、今期は▲17.0となり、前期（▲20.7）より 3.7 ポイント上昇した。

黒埼商工会調査ならびに中小企業調査とも、雇用動向 BSI は上昇しており、黒埼商工会調査の方が、雇用の不足感は緩和している。



※リサーチセンター調査では、雇用を尋ねている。

## 8. 景況判断

今期の景況判断が、前期と比べて「好転」と回答した企業の割合は3.4%、「不変」は44.8%、「悪化」は51.7%という結果だった。

今期の景況判断 BSI（「好転」－「悪化」）は▲48.3 と、前期（▲76.7）から 28.4 ポイント上昇した。来期は▲69.0 と、今期より 20.7 ポイント悪化する見込みである。図 8.2 を見ると、来期に「好転」と回答した企業はなく、全体的に厳しい状況になるとみられている。

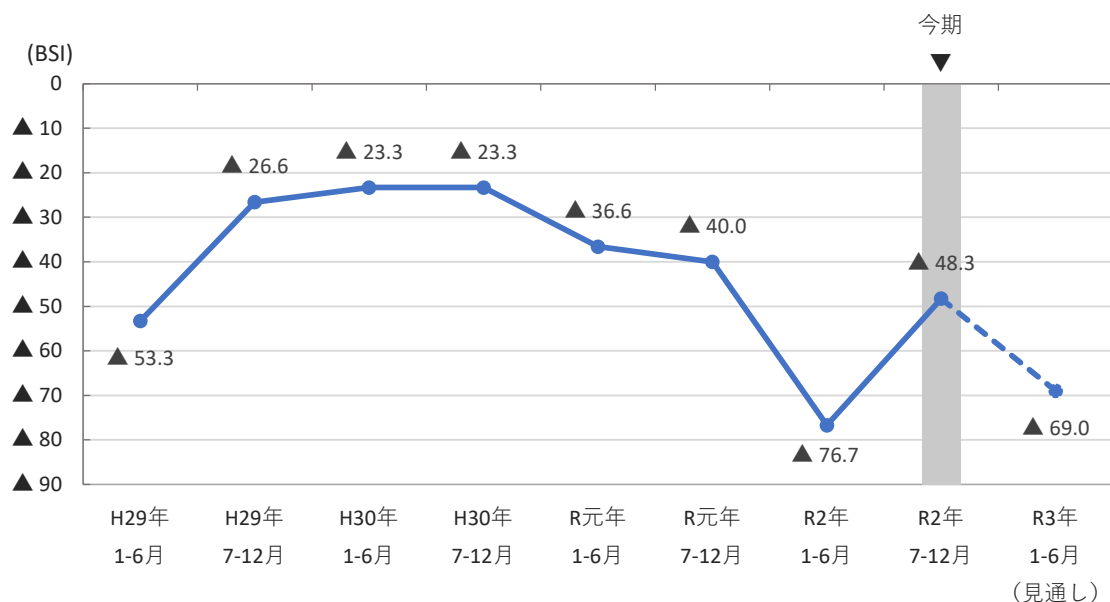


図 8.1 景況判断 BSI

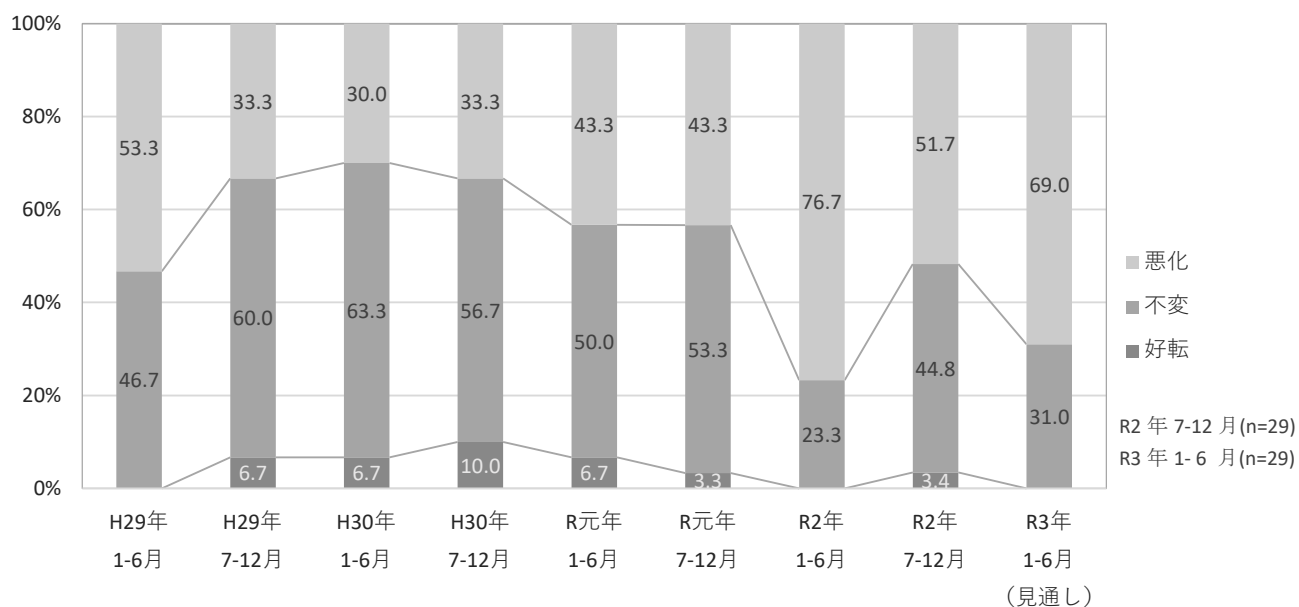


図 8.2 景況判断の回答割合

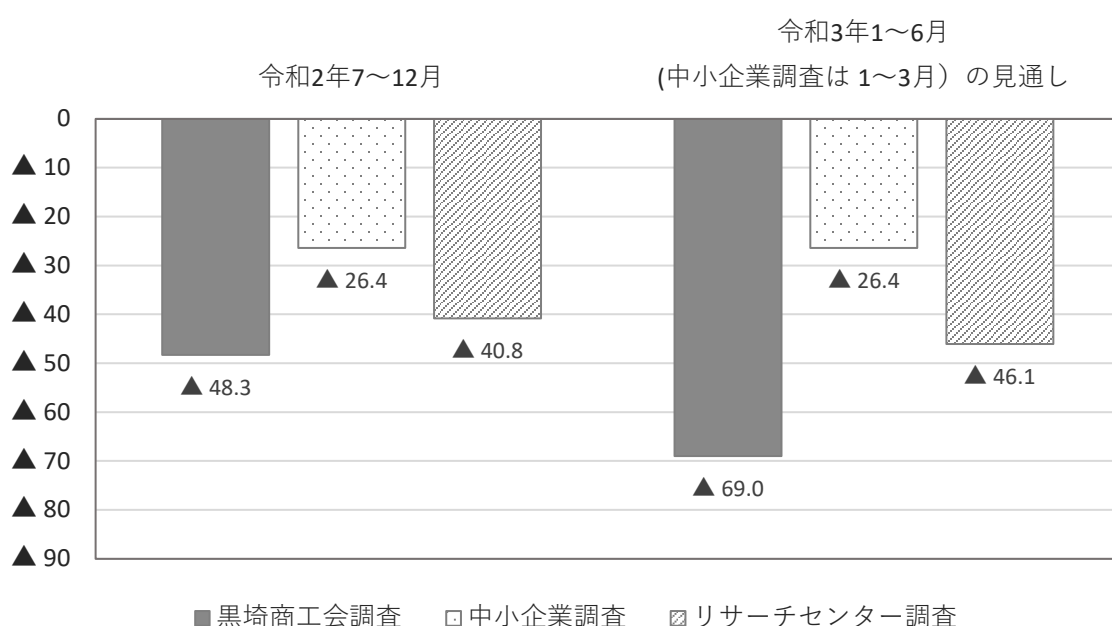
### 【参考】

「中小企業調査」をもとに全国の中小企業の業況判断 DI\*をみると、今期と来期の見通しは同じく▲26.4であり、横ばいに推移する見込みである。また、中小企業調査では令和3年4～6月の見込みが出ていなかったため、令和3年1～3月の見通しを使用している。

「リサーチセンター調査」をもとに、新潟県内企業の業況判断 BSI\*をみると、今期が▲40.8であり、来期は▲46.1とやや低下する見込みとなっている。

黒埼商工会調査の景況判断 BSI ならびにリサーチセンター調査の業況判断 BSI とも、低下する見通しとなっているが、黒埼商工会調査の方が低下の見込み幅が大きくなっている。

### 景況・業況判断BSIの推移



※リサーチセンター調査では、業況を四半期毎（1～3月、4～6月、7～9月、10～12月）に尋ねていることから、グラフでは1～3月と4～6月の平均を1～6月に、7～9月、10～12月の平均を7～12月に表示している。

※中小企業調査およびリサーチセンター調査では、業況判断を尋ねている。

## 9. 経営上の問題点

経営上の問題点をみると、「需要の停滞」が最も多く 50.0%、次いで「店舗、設備等の老朽化」が 46.7%である。この 2 つは、回答した企業のおよそ半数が経営上の問題点として挙げている。以下、「従業員の確保」と「税負担の増加」がそれぞれ 26.7%、「受注、販売競争の激化」が 23.3%となっている（図 9.1）。

また、令和 2 年度上期調査と比較すると、「需要の停滞」や「店舗、設備等の老朽化」の割合が依然として高く、上位項目に大きな変動はない。また、「事業資金の借入難」は増加している一方、「仕入単価の上昇」は低下している。

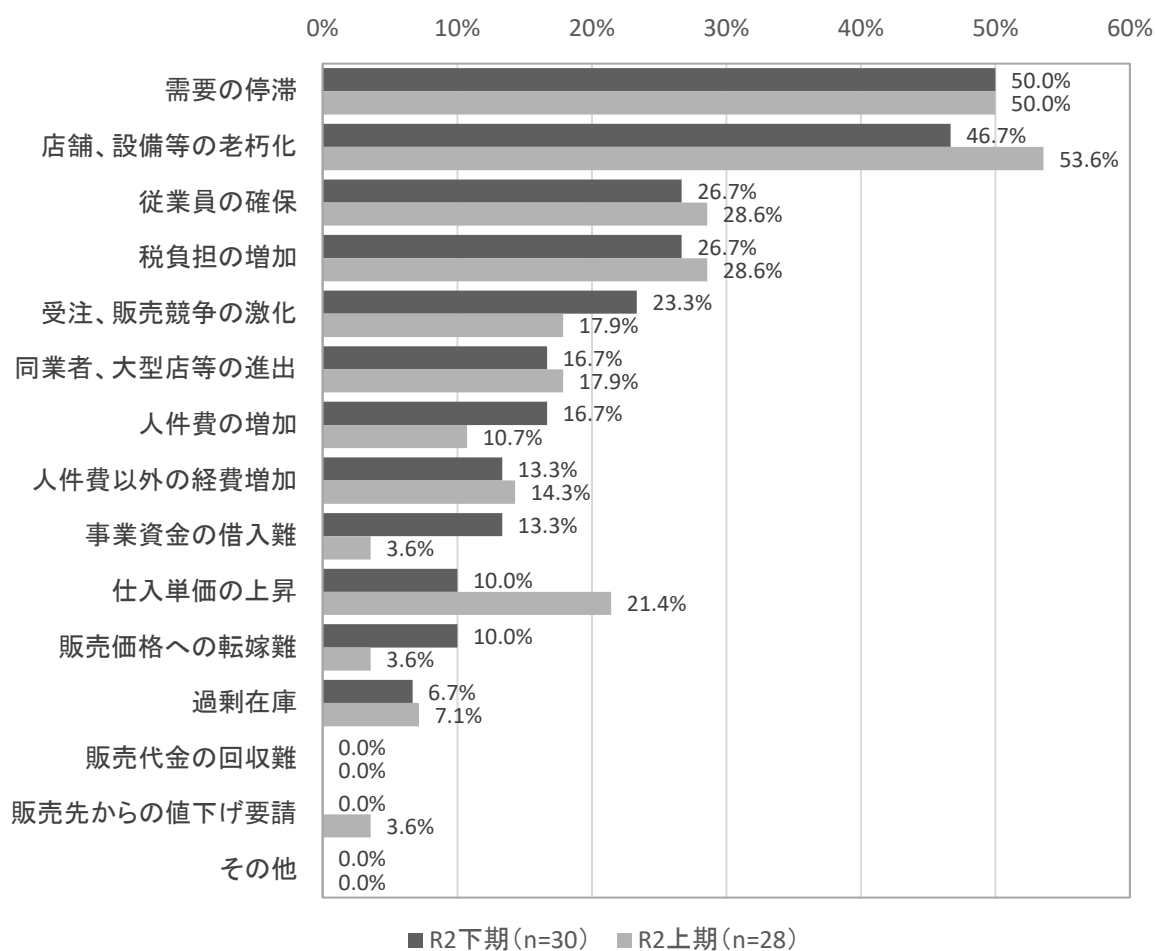


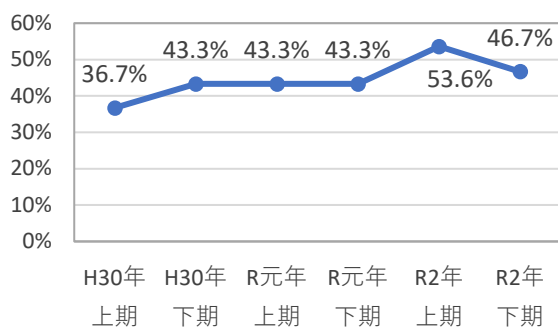
図 9.1 経営上の問題点（3つまでの複数回答）



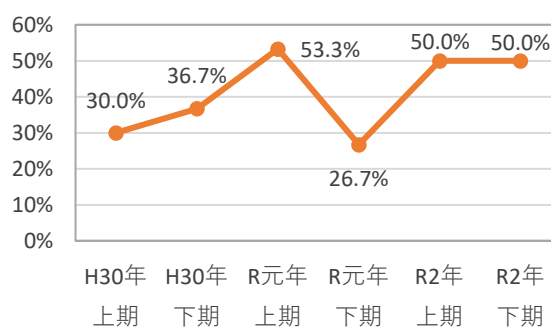
経営上の問題点の上位項目をそれぞれ時系列でみると、「店舗、設備等の老朽化」の割合は例年高く、「需要の停滞」は令和2年度の割合が高い。

一方、「従業員の確保」や「仕入単価の上昇」、「同業者、大型店等の進出」などの割合は低下傾向にある。

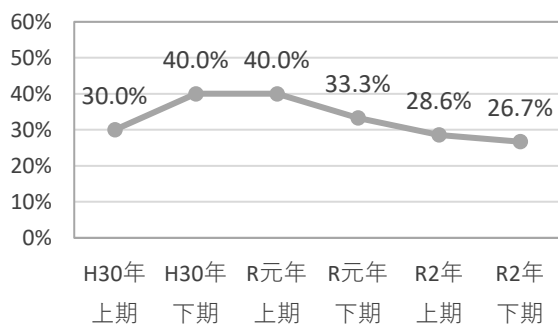
店舗、設備等の老朽化



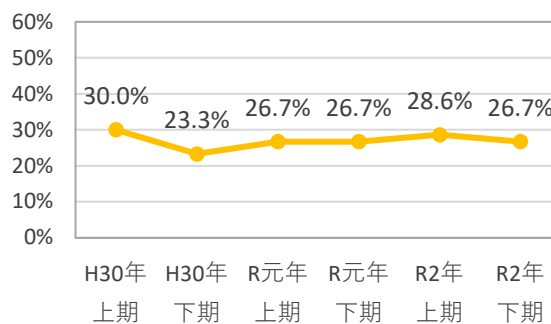
需要の停滞



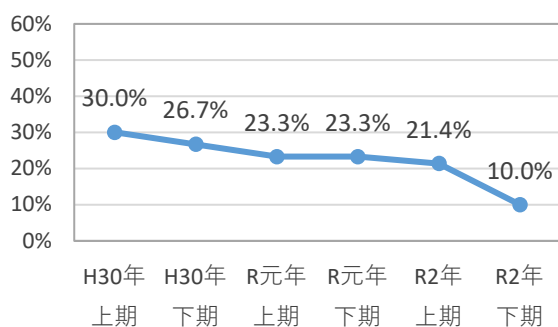
従業員の確保



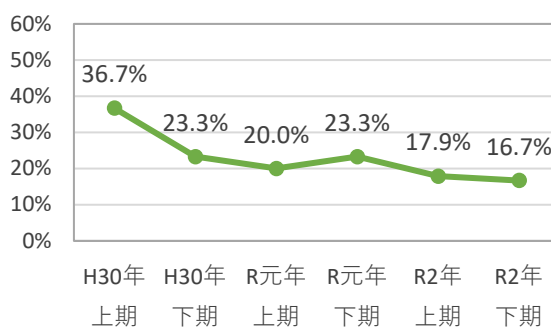
税負担の増加



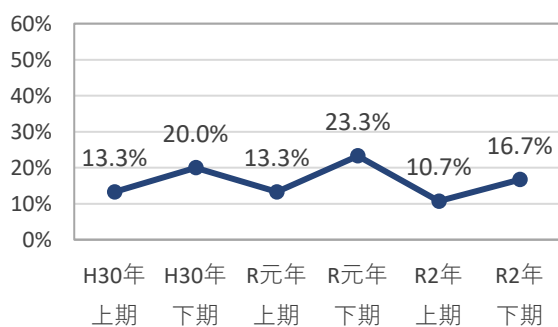
仕入単価の上昇



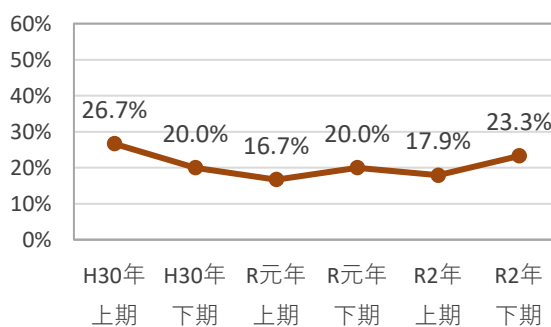
同業者、大型店等の進出



人件費の増加



受注、販売競争の激化



## 10. 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響について、自由回答で尋ねた結果は表 10-1 のとおりである。

製造業では、売上や生産量が減少している。建設業では、影響は特にないとの回答があった。卸・小売業では、物によっては仕入単価が上昇しており、「飲食店向けの仲卸し商品が新型コロナウイルスの影響で激減してきた」との声がみられる。サービス業他では、客足が遠のき売り上げが低下したと回答する事業者が多い一方で、売上にほとんど影響がなく、各種の会議がなくなって仕事に集中できたという意見もある。

表 10-1 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の影響について (売上面、仕入面、環境面など)	業種	従業員数
売上大減少	製造	1人～2人
生産量減	製造	6人～20人
とくになし	建設	3人～5人
特になし。	建設	3人～5人
来店客がめっきり少なくなった	卸・小売業	0人
受注・販売競争の激化、需要の停滞、税負担の増加	卸・小売業	1人～2人
飲食店向けの仲卸し商品が新型コロナウイルスの影響で激減してきた	卸・小売業	3人～5人
物によっては仕入価格が上昇している	卸・小売業	3人～5人
客数減少、売上低下	サービス他	0人
商品の入荷の遅れ	サービス他	1人～2人
売上面には影響がほとんど無く良かった。各種の会議等が中止になり仕事に集中できた。	サービス他	1人～2人
顧客の来店周期が長くなり、回数が減少しているのに、衛生用品、薬品等の経費がかかる。その分を料金に上乗せできない分、利益は減少した。	サービス他	1人～2人
お客様がお見えになりません。	サービス他	3人～5人
今のところ影響は無い様子。	サービス他	3人～5人
客数の大幅減少に伴う収入減少	サービス他	3人～5人
車庫入庫の減少	サービス他	6人～20人
外国産が入ってこないため、国産の仕入単価上昇、大人数→少人数やテイクアウト移行により売上単価減少	サービス他	6人～20人

## 11. 今後の事業・経営において強化したい点等

今後の事業・経営において強化したい点を自由回答で尋ねたところ、表 11-1 のような回答があった。外出の自粛等により、「テイクアウトを強化し、ネット販売にも取り組みたい」という意見が出ている。

表 11-1 今後の事業・経営において強化したい点

今後の事業・経営において強化したい点、商工会への意見	業種	従業員数
設備投資と従業員の確保	建設	3人～5人
集客の方法	サービス他	1人～2人
販路開拓	サービス他	1人～2人
現状維持できる様にしたい。	サービス他	1人～2人
設備投資	サービス他	6人～20人
テイクアウト強化、ネット販売	サービス他	6人～20人

## IV 調査結果の総括

### 1. 調査結果の総括表

景況判断	<p>■ 今期の景況判断 BSI（「好転」－「悪化」）は▲48.3 と、前期の▲76.7 から 28.4 ポイント上昇した。来期は▲69.0 と、今期から 20.7 ポイント悪化する見込みであり、依然として厳しい状況が続くとみられる。</p>
売上	<p>■ 今期の売上 BSI（「増加」－「減少」）は▲40.0 と、前期（▲79.3）から 39.3 ポイント上昇した。来期は▲66.7 と、再び低下する見込みであり、全体では厳しい状況が続くとみられる。</p>
採算（経常利益）	<p>■ 今期の採算（経常利益） BSI（「好転」－「悪化」）は▲38.0 と、前期（▲73.3）から 35.3 ポイント上昇した。来期の見通しは▲65.5 であり、全体では悪化の傾向が続く見通しである。</p>
仕入単価	<p>■ 今期の仕入単価 BSI（「上昇」－「低下」）は 21.4 と、前期（21.4）から横ばいで推移した。来期の見通しは 31.0 であり、仕入単価の高止まり感が続くとみられる。</p>
販売（客）単価	<p>■ 今期の販売（客）単価 BSI（「上昇」－「低下」）は▲24.1 と、前期（▲36.7）から 12.6 ポイント上昇した。来期は▲34.5 と、再び低下する見込みであり、需要の停滞が続くとみられる。</p>
資金繰り	<p>■ 今期の資金繰り BSI（「好転」－「悪化」）は▲33.4 と、前期（▲46.4）から 13.0 ポイント上昇した。来期は▲46.4 と、再び悪化する見通しとなっており、依然厳しい状況にあることがうかがえる。</p>
雇用動向	<p>■ 今期の雇用動向 BSI（「増加」－「減少」）は▲11.1 と、前期（▲26.9）から 15.8 ポイント上昇している。来期は▲14.8 と、今期からやや低下する見込みである。</p>
経営上の問題点	<p>■ 経営上の問題点をみると、「需要の停滞」の割合が最も高く 50.0%、次いで「店舗、設備等の老朽化」が 46.7%である。以下、「従業員の確保」と「税負担の増加」がそれぞれ 26.7%、「受注・販売競争の激化」が 23.3%となっている。</p>
新型コロナウイルス感染症の影響	<p>■ 製造業では売上や生産量が減少したとの声がみられるが、建設業では新型コロナウイルスの影響が特に出ていないようである。卸・小売業では、飲食店向けの仲卸し商品が激減したほか、物によって仕入単価が上昇したとの声がきかれる。サービス業他では、客足が遠のき売上が減少したという事業者が多い一方で、会議等がなくなり仕事に集中できたとの意見もある。</p>

## 2. まとめ

黒埼地域の今期の「景況判断」は、前期から改善したものの、依然として低い水準が続いている。業種別では、製造業の75.0%、卸・小売業の85.7%、サービス業他の50.0%が前期と比べて悪化と回答した。一方、建設業ではすべての事業者が、変わらないとの回答であり、業種や事業者ごとに、前期からの回復度合いに差がみられる。来期の「景況判断」は悪化が見込まれており、特に卸・小売業で悪化の割合が高い。リサーチセンター調査においても、業況がやや悪化する見込みであり、新潟県内企業全体で依然として厳しい状況が続いていることがうかがえる。

新型コロナウイルス感染症の影響については、卸・小売業やサービス業他で客数の大幅な減少により売上が低下したという声がある一方で、建設業では影響は特にないと回答であった。また、サービス業他の中でも、売上にはほとんど影響がないという意見もみられた。業種や事業者ごとに違いはあるものの、国や自治体が用意する観光・飲食店向けの支援策の活用や感染防止対策の徹底などにより、全体では持ち直しの動きがみられる。

先進国の一部でワクチンの接種が始まったものの、日本での普及にはなお時間がかかる見通しである。また、緊急事態宣言が延長された地域もあるなかで、新型コロナウイルス感染症による影響の長期化が予想される。地域内経済の持ち直しのペースは鈍い状況が続くと思われることから、テイクアウトやネット販売の強化など、各事業者が時代のニーズに合わせて工夫し、感染防止対策を徹底した事業を継続することで、景況の回復につなげることが期待される。

今後はさらに都市から地方へ人やモノの移動が加速すると考えられることから、地方の需要が高まることを視野に入れた雇用や事業展開がポイントになると推察される。

## 【資料編】

## 景況調査ヒアリングシート（令和2年度）

調査対象期間 令和2年7月～12月

（調査時点 令和2年12月1日）

商工会名		黒埼商工会	担当職員名	
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他		
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超		
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外		
	後継者の有無	1：有 2：無		

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(R1年7～12月) と比較して	前期(R2年1月～6月) と比較して	今期(R2年7～12月)と 比較した来期(R3年1～6月) の見通し
売上	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
採算(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
仕入単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
販売(客)単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
雇用動向	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
景況判断	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

- ①受注、販売競争の激化                      ②同業者、大型店等の進出                      ③過剰在庫  
 ④店舗、設備等の老朽化                      ⑤販売代金の回収難                              ⑥需要の停滞  
 ⑦仕入単価の上昇                              ⑧販売価格への転嫁難                              ⑨人件費の増加  
 ⑩人件費以外の経費増加                      ⑪事業資金の借入難                              ⑫従業員の確保  
 ⑬販売先からの値下げ要請                      ⑭税負担の増加  
 ⑮その他 (    )

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について(売上面、仕入面、環境面など)

--

(4) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)商工会への要望・意見等

--

令和2年度 黒埼商工会 下期景況調査  
報告書

令和3年2月  
黒埼商工会